

80. 働き易く丈夫な水田作業衣及び補助衣の地質の選定について。——(1)土壤及び肥料が水田作業衣及び補助衣に及ぼす影響 (2)水田作業衣及び補助衣の損耗箇所と損耗度に応じた作業衣及び補助衣の布地選定について——

佐賀県庁農業改良課 丸田 カツ

1. 水田作業衣は殆ど木綿織物で泥土に浸る腕先ひざ下の破損が甚しい。このような部分的な破損によって作業衣全体の価値が低下するので水田作業衣に適当な布地を選定し併せて働らき易く丈夫な水田作業衣及び補助衣の工夫研究を進めたい。

2. (1)肥料四要素試験中に木綿緋、綿デニム、オールの試験布を浸漬し、その強度を測定した。(2)各種肥料並びに土壤別(干拓山間)に浸漬し布の観察と強度を測定した。(3)久留米緋、30%ナイロン、ビニロン系のサージを使った作業衣と手甲脚絆も同時に着用実験を行った。(4)・(3)の結果より久留米緋作業衣の損耗個所に久留米緋、ビニロン、ナイロンの当布を補し着用実験した。(5)・(3)の結果より脚絆は100%木綿、ナイロン、ビニロンのメリヤス脚絆の着用実験を行った。

3. (1)木綿緋にのみ無窒素・無加里・四要素の浸漬布が破壊され他は変化が少い。(2)胞料の濃度よりも肥料の種類間に於て過石、塩化、化成の老化が認められた。干拓土壤に対しては特に木綿緋デニムが一番よわい。干拓地の手甲脚絆は酸化鉄の附着甚しい。(3)久留米緋の袖口、ひざのいたみの個所には共布で表より当布をする方が合理的である。(4)木綿の手甲脚絆は著しい損耗をきたし使用不能、これはまさつと酸化鉄の影響によるものと思われる。ビニロン・ナイロンは6倍のつよさが算出され手甲には適しているが脚絆は20番手3本どりのメリヤス脚絆が最もよろしい。